

式 辞

厳しい冬の寒さも和らぎ、鴨の沂を吹き渡る風にも春の気配が感じられる、今日の佳き日に、京都府立鴨沂高等学校第69回卒業証書授与式を挙行いたしましたところ、多数の御来賓並びに保護者の皆様の御臨席を賜りましたことは、卒業生はもとより、本校の生徒及び教職員一同にとり、この上ない慶びとするところであります。高段からではございますが、心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

ただいま、191名の生徒の皆さんに、高等学校の全ての課程を修了した証として、栄えある卒業証書を授与いたしました。皆さん、卒業おめでとう。保護者の皆様におかれましては、たくましく成長されたお子様の姿に感慨もひとしおのことと拝察いたします。今日に至るまでの並々ならぬ御労苦に敬意を表しますとともに、改めてお祝いを申し上げます。誠におめでとうございます。

振り返れば、皆さんが入学した3年前は、既に荒神口の旧校舎は解体され、ここ鞍馬口で皆さんの高校生活が始まりました。そして、高校入試制度が、総合選抜から単独選抜に変更され、類型制度も改められ、新しい教育課程で学ぶ最初の生徒となりました。しかも、それと同時に、本校は大きな学校改革を進めていましたから、皆さんは様々な場面で新生鴨沂の1期生と呼ばれ、新しい教育制度や学校の取組に戸惑い、不安や不満を感じたことと思います。そして今、建設工事の遅れによって、在学中に荒神口の新しい校舎に戻してあげることができず、大変申し訳なく思っています。

しかし、この間の学校改革は、鴨沂の伝統復活を目指して進めてきたことであり、そんな大きな歴史の節目に立つ本校を巣立っていく皆さんだからこそ、鴨沂の精神とここで学んだことの意味を、今改めて伝えておきたいと思えます。

鴨沂の前身である、明治5年創立の新英学校及び女紅場の規則には、「国益を興さんことを希望し」と記されています。また、現在の本校の教育目標は、戦後の学制改革により、昭和23年の高校創設と同時に定められたものを変えずに引き継いでいます。そこには、「世界平和を希求し、すべての人々が幸福になりうる社会をめざして、事実に基づいて真理を追究し、それに従って実践しようとする人間をつくる。」と定められています。本校は、女紅場創立以来、社会や国家の繁栄、世界の平和・幸福に貢献する人間を育成することをその使命として貫いてきた学校であり、このことがまさしく、不易なる鴨沂の精神なのです。

本校が京都文化の学びを取り入れた意味もそこにあります。20世紀のイギリスの文学者、T・S・エリオットは、「文化とは生き方である」と言っています。であるならば、鴨沂高校生の生き方そのもの、つまり、明治の初めから脈々と受け継がれてきた鴨沂の精神こそが、鴨沂高校の文化だと言えます。更に言えば、京都人の生き方そのものが積み重なって形作られてきた京都文化・日本文化を学ぶことを通して、鴨沂高校生としての、更には京都人としてのアイデンティティを確立していくことが、本校の京都文化の学びの本質なのです。

女紅場と同じ時代を生き、明治の偉人福沢諭吉は、『修身要領』の中で、人間の生き方として、独立自尊であれと説いています。人は、学問を修める過程で、人としての品位を高め、智と徳を研ぎ、自他の尊厳を大切に、何事も自分の判断・責任のもとで行動する、独立自尊の人であれ、と。独立自尊は、鴨沂の生き方に通じる言葉です。

私が3年前の入学式で、将来の目標や夢、何事にもチャレンジする強い心、確かな個性、世のため人のために力を尽くす覚悟を持って欲しいと語ったのも、3年間の高校生活の中で鴨沂の精神を実感し、ふさわしい生き方を身に付けて欲しいと願ったからです。

この度、本校第16代校長 拝師暢彦先生が、『京都府立第一高女と鴨沂高校』を出版され、145年の歴史と伝統を誇る鴨沂の精神を現代の私達に分かりやすく解き明かして下さっています。先生からプレゼントされた御著書を読み味わい、母校の素晴らしさを実感してほしいと思います。

皆さんの卒業に至る道のりは、決して平坦なものでは無かったと思います。勉強や部活動、自らの生き方や友人関係に悩むなど、幾多の困難があつたでしょうが、様々な試練を乗り越え、一人一人が確かな成果をあげ、立派に本校の新たな歴史の節目を飾ってくれました。学力を伸ばし、部活動や学校行事・地域行事に積極的に参加する生徒が増えました。一方で、生活の乱れや問題行動・中途退学がほとんどなくなるなど、本校の課題であつたものは着実に解決されていきました。そして、最上級生となったこの1年は、進路目標の達成に向けて急速に力をつけたように感じます。その結果、地域や中学校など、多くの人々から「鴨沂は良くなった。」「鴨沂の生徒は頑張っている。」と声をかけていただくようになりました。かつての低迷期を脱して、学校の信頼を取り戻し、入学希望者も増えています。こうした学校の変化は、皆さんの頑張りの成果です。

鴨沂高校を巣立っていく皆さんには、鴨沂の精神を受け継ぐ者として、母校に対する誇りと確かな成長を遂げた自己への自信を持ち、これから出くわすであろう様々な課題や試練に果敢にチャレンジし、たくましく生き抜いてほしいと思います。そして、世のため人のために力を尽くせる人間になってください。皆さんの未来に幸多かれと祈ります。

結びに、本日御臨席を賜りました御来賓の皆様、並びに保護者の皆様には重ねて感謝を申し上げます。本校に対しまして、今後なお一層の御支援・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の御健勝と卒業生の皆さんの洋々たる前途を祝し、式辞といたします。

平成29年3月1日

京都府立鴨沂高等学校
校長 藤井 直